

R3淀川水害協首長会議①河川管理者からのホットライン



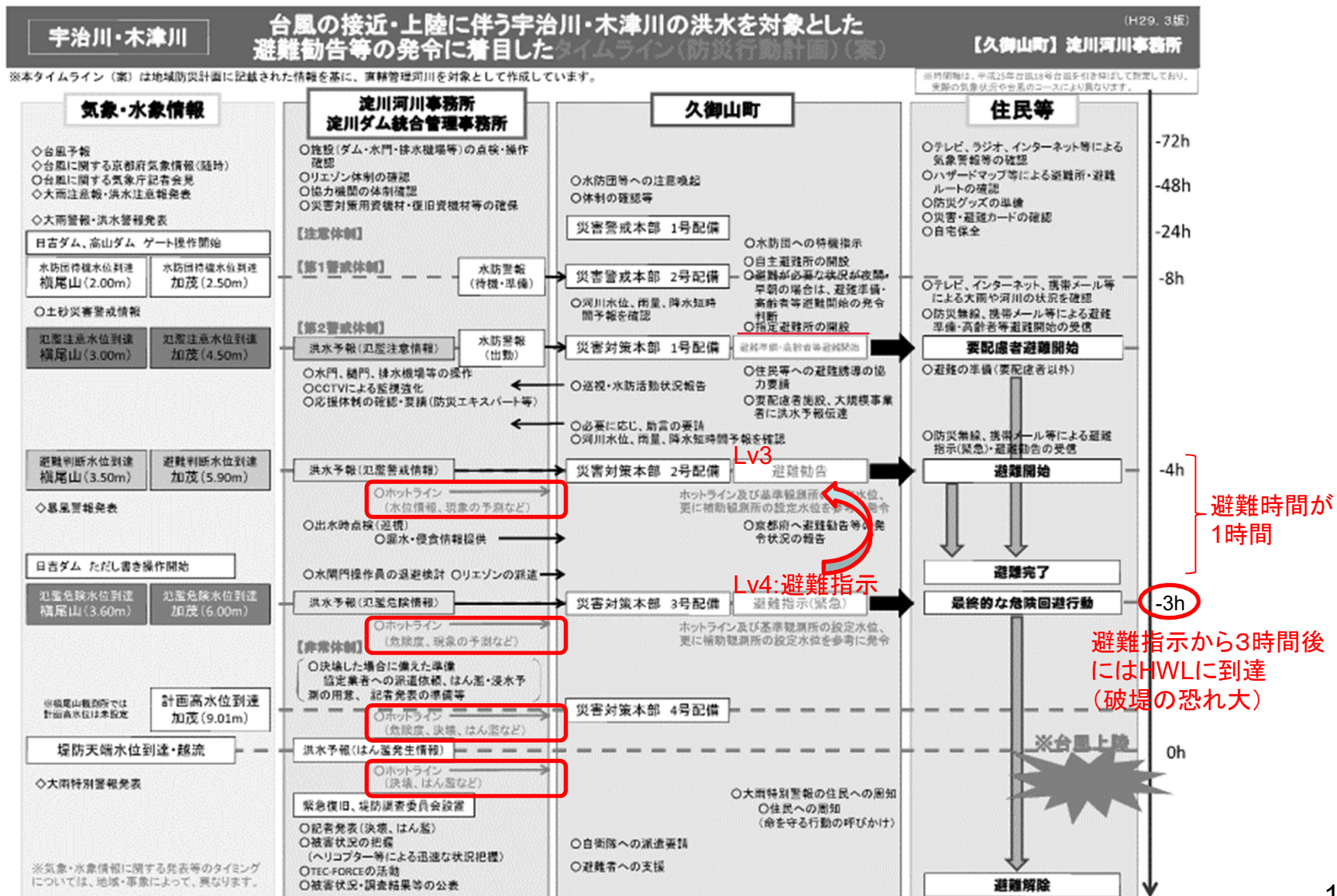
資料-4

【機密性2】

発出元 → 発出先

作成日 作成担当課 用途 保存期間

議題①: 河川管理者からのホットライン: 現状のタイミングで良いのか



議題①: 河川管理者からのホットライン: 現状の情報提供と今後の対応

○河川管理者からの情報提供

- ・予測水位の共有
- ・リモート会議の試行
- ・ホットライン

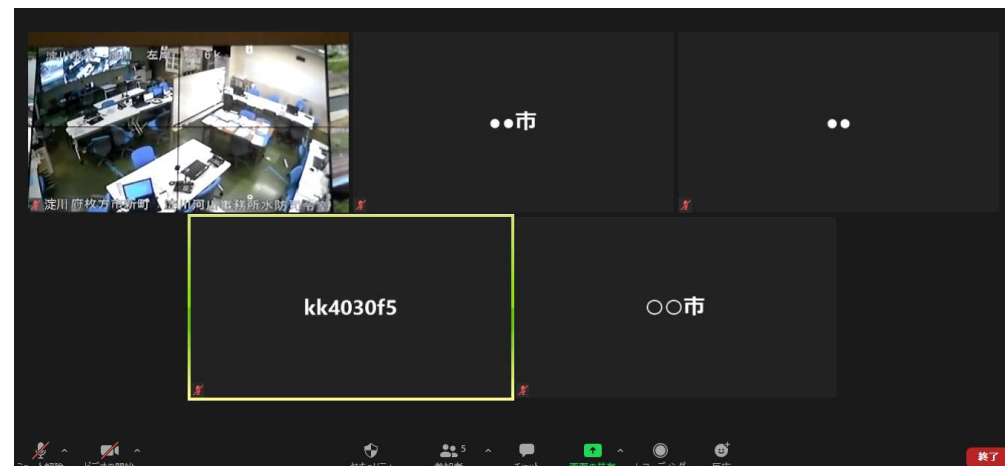


<リモート会議の開催後の自治体意見>

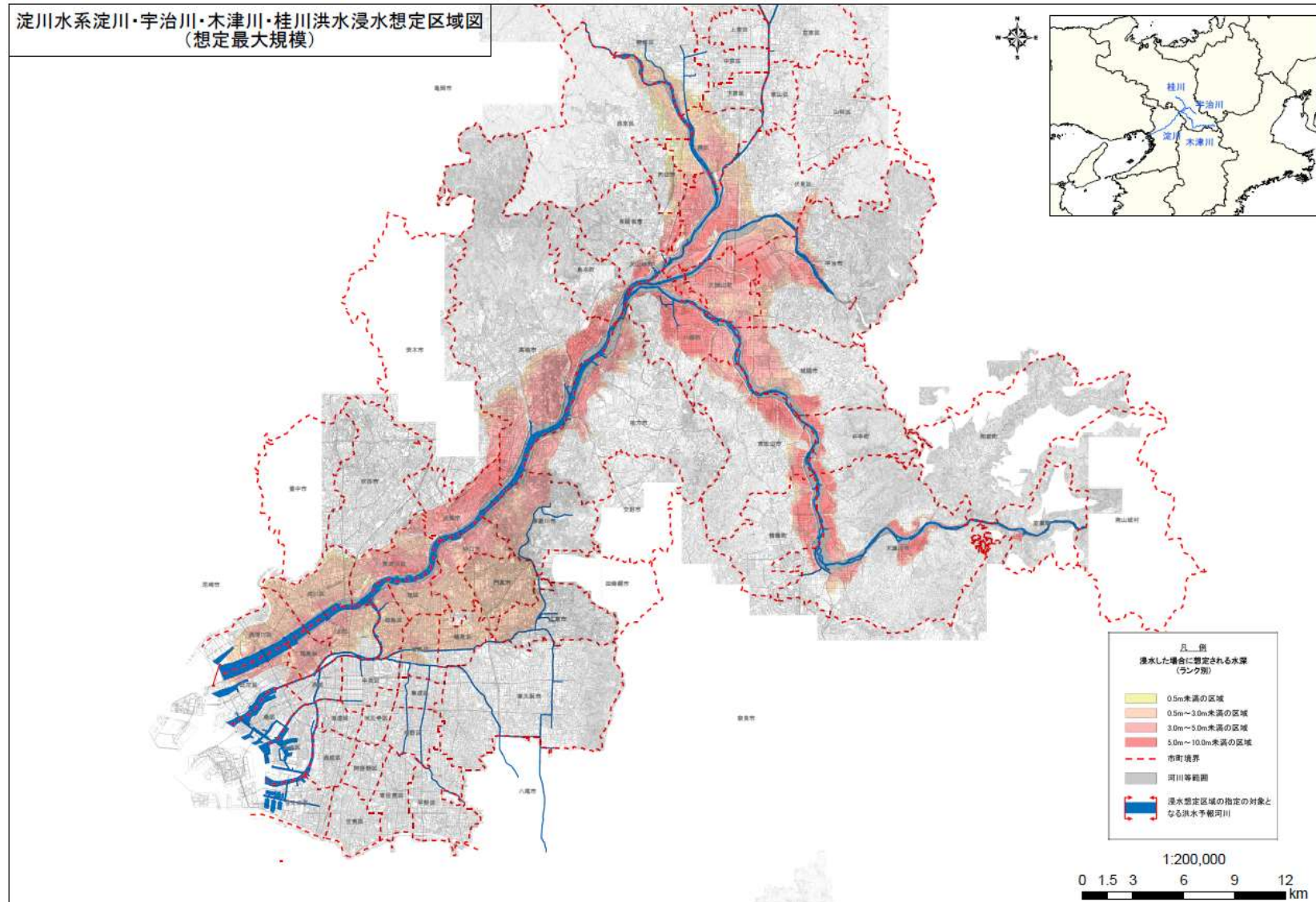
- ・隣接市の状況(体制立ち上げ、避難所開設等)が共有できる。
- ・市の幹部会でも事前情報として話げできた。
- ・避難所開設は洪水の水位だけでなく、暴風を踏まえ、事前に開設することとしており、隣接市と情報を共有していきたい。

○リモート会議の接続を継続

- ・通常、リモート会議等を行う場合は、会議時間のみ接続を行うが、**出水対応時(水防団出動等の警戒体制発令規模以上)**にもリモート会議を継続して接続し、**必要な情報はその都度共有。**



議題②: 広域災害における情報共有とタイミング: 淀川の氾濫は市境を越える氾濫



議題②: 広域災害における情報共有とタイミング: 空振りの懸念

避難時間だけでなく、近年洪水によるリードタイムを検討

- 浸水想定区域図(想定最大)では、平成25年洪水型を360mm/24hに引き延ばし、淀川の浸水リスクを表示しており、同様に木津川筋で多雨となった平成29年台風21号型、桂川筋で多雨かつ長時間の降雨となった平成30年7月豪雨を含む3洪水で洪水到達時間を確認。
- 3洪水とも想定最大規模となるため、水位上昇量も大きくなるが、**降雨からの判断であれば、9時間~27時間確保可能だが**、水位での判断では、**1時間~9時間**となるため、避難所開設や避難の移動を踏まえると、水位判断は困難。

○平成25年型(浸想図同様)

下記時点から計画高水位超過までの時間を確認

・降雨量からの時間

流域平均雨量50mm 15時間

流域平均雨量100mm 9時間

・水位からの時間

氾濫注意水位 2時間

避難判断水位 1時間

○平成29年型

下記時点から計画高水位超過までの時間を確認

・降雨量からの時間

流域平均雨量50mm 21時間

流域平均雨量100mm 16時間

・水位からの時間

氾濫注意水位 3時間

避難判断水位 2時間

○平成30年型

下記時点から計画高水位超過までの時間を確認

・降雨量からの時間

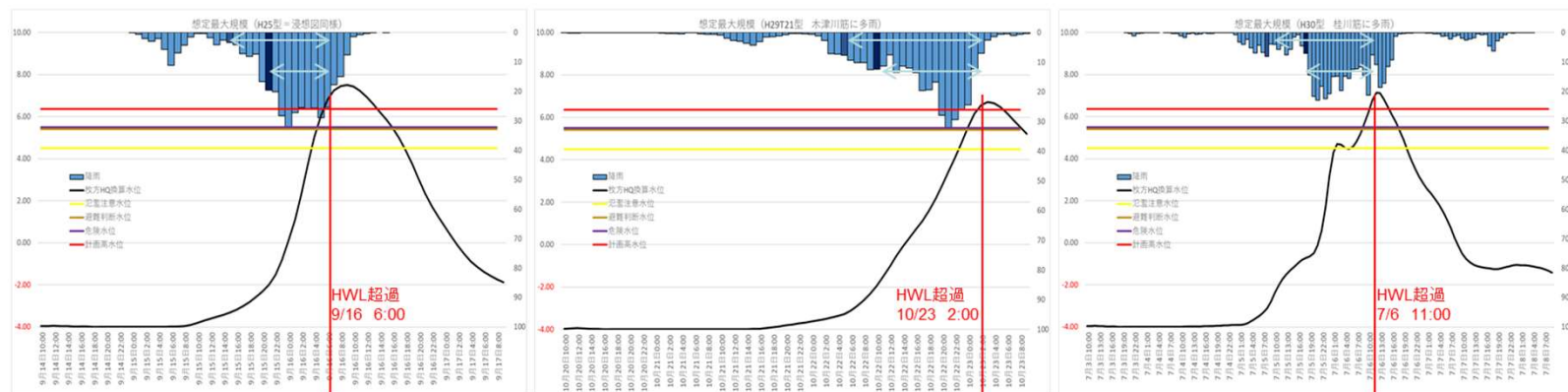
流域平均雨量50mm 27時間

流域平均雨量100mm 16時間

・水位からの時間

氾濫注意水位 9時間

避難判断水位 2時間



大阪府域三島広域避難WGでの議論

・広域避難のタイミングは、洪水発生前の予測降雨での判断が必要。

